

じんけん どう わ もん だい けい は つ き ょ う ち ょ う げ っ か ん と り く し ょ う かい ●人権・同和問題啓発強調月間の取組みの紹介

(1) じんけん どう わ もん だい けい は つ き ょ う ち ょ う げ っ か ん 人権・同和問題街頭啓発



がつついたち げつ けいせんまちやくば ふ きん
7月1日(月)、桂川町役場付近をはじめ
ちやうない しよ じんけん どう わ もん だい けい は つ き ょ う ち ょ う げ っ か ん
町内5か所において、人権・同和問題街頭啓
はつ おこな
発を行いました。

かつどう けいせんまちじんけん どう わ もん だい けい ぎ かい
この活動は、桂川町人権・同和問題協議会
い いん ふくおかけんどうわもん だい けい は つ き ょ う ち ょ う げ っ か ん
委員によって、福岡県同和問題啓発強調月間
おこな みちゆ ひと しゃ
にあわせて行っているもので、道行く人や車
ちゆう ひと こえ し みんこう ざ じんけんこうえんかい
中の人に声をかけ、市民講座「人権講演会」
あんない けいはつよう はいふ
の案内チラシや啓発用うちわを配布しまし
た。

じんけんけいはつ てん (2) 人権啓発パネル展



がつついたち げつ にち もく
7月1日(月)～18日(木)まで、
やくば かい およ ちやうりつ と しやかん
役場1階ロビー及び町立図書館にお
や かんちやうがく
いて「夜間中学～あかりがともるよ
るのまなびや～」と題して、福岡県
じんけんけいはつじやうほう きやうりよく
人権啓発情報センターの協力のもと
てん かいさい
パネル展を開催しました。

こんかい や かんちやうがく れきし ふ かえ
今回は、夜間中学の歴史を振り返
きやういく けん り ほ しょう やくわり
り教育の権利を保障してきた役割を
かくにん けんない
あらためて確認するとともに、県内

じしゅ や かんちやうがく げんじやう しやうかい しやうらい か だい かんが てん
の自主夜間中学の現状を紹介しながら、将来の課題について考えたパネル展でした。



よ か よろこ
読み書きができる喜び
つた
が伝わってきたね。



いま
今もいろんなところで
べんきやう ひと
勉強している人が
いるんだね。



(3) 市民講座「人権講演会」

7月7日(日)住民センターにおいて、市民講座「人権講演会」を開催しました。今回は、鹿児島県在住の宮丸太鼓店店主の宮内礼治さんを講師に迎え、「誇りをもって生きる」～太鼓づくりにかける思い～という演題で講演をしていただきました。

子どもの頃のこと、父親のこと、生まれ育った地域のことなど、当時のことを振り返りながら話されました。

誇りをもって太鼓づくりをしている宮内さんの太鼓づくりの実演と差別に対する想いに会場の参加者は聞き入っていました。

太鼓に使う
牛の皮
大きかったね!!



太鼓の実演をしながら話す宮内 礼治さん

～ 宮内さんの講演の一部から ～

太鼓は日本のお祭り
には かかせない
ものだよね!!



太鼓店の前を 小学生3人組が通る

小学生- 「おじちゃん何してるの?」
宮内さん- 「太鼓つくってるよ」
小学生- 「どうやってつくってるの?」
宮内さん- 「牛の皮でつくるよ」
小学生- 「牛を殺すの?」
宮内さん- 「違うよ。みんなが食べて
残った皮を使うよ」
小学生- 「ひどい! かわいそう!」
宮内さん- 「いや、違うよ。
残った皮を…」

宮内さんの伝えたい事

宮内さんは子どもの頃、友達の親の仕事と比較して、太鼓屋の自慢をしていた。高校生の時、友人から「お前、それ差別だよ職業差別って言うんだぞ」「相手の親の仕事のことをほんとうに知ってて、そんな自慢してたの?」と言われて、友達の親の仕事の表面的にしか理解していなかったことに気づいた。それは、小学生たちが牛の皮を見て「殺して作っている、かわいそう」と思う気持ちと近いものだった。
皮革産業に従事している人たちが、どういう思いで仕事をしているかをちゃんと伝えていく必要がある。

参加者からの感想を紹介します

誇りをもって生きることの意味を知りました。それぞれ人によって誇りは違うが、
しっかり誇りをもっていきたいと思った。

分かりやすい言葉での講演、派手さはないが、じわーと染みわたる講演でした。

命を生かしている命をいただくことの仕事のすばらしさを感じることができました。
人を苦しめる為ではなく、いじめや差別のない社会を創るよう私も何か出来ることは
ないか考えさせられました。

“人権”を考えることを身近に感じました。なぜ差別が生まれるのか考えることは
必要と思います。差別はダメというのは簡単ですが、なぜ？を考える力を作れる環境、
家族の関わりを大切にしたいと思いました。

命をいただく。生かしていくための命の尊さ、人権の大切さ、生きるための力を
差別やいじめに使うな!! 心に残りました。

この他にも参加者の声はたくさんありました！

今回の講演会は初めての体験で心に残ったね。
「命をいただく」「命の大切さ」「人権の大切さ」
改めて考えさせられたね。



小・中学生にも聞かせたい
なあと思ったね!!

